

ふ・れ・あ・い
いんいん
 隣 隣

びほろ社協だより

発行 社会福祉法人
美幌町社会福祉協議会

美幌町字東3条北2丁目1番地
「しゃきつとプラザ内」
電話 72-1165

発行責任者 森 暉夫 印刷 (株)美幌大成印刷



よりあいデイサービス とりさとサロン バルーンアート

とりさとサロンを運営するボランティアの方々が、サロンを楽しい活動にしようと事前準備のために集い、バルーンアートの練習をしました。(詳細は6ページに掲載)

今回の社協だより

- 平成25年度事業の活動概要 2
- 平成24年度社会福祉協議会会計収支決算
平成25年度社会福祉協議会会計収支予算 ... 3
- 日常生活自立支援事業について
社協在宅サービス委員会活動報告 4
- 社協福祉サービスの紹介
配食サービスボランティアについて 5
- ボランティアセンターセミナー開催結果
地域サロン活動 とりさとサロン紹介 6
- ふれあい広場2013の実施案内 7
- 寄付をいただいた方々、あしがき 8

お気軽にご相談ください

心配ごと相談

民生委員、学識経験者等の相談員2名が、電話での対応を含め、皆様のどのような心配ごとへも相談に応じます。相談日は、相談者と相談員の日程を調整し、決定します。

社会福祉協議会 ☎ 72-1165

社協だよりは、共同募金の配分金も利用し、発行されています。

平成25年度 社会福祉協議会活動概要

～みんなでつくる支えあい・たすけあい・ふれあいのまちをめざして～

平成21年度より実施しております、第4期地域福祉実践計画「あんしん輝きプラン」に基づき、5年目となる今年度も引き続き地域活動の推進をしていきます。

特に今年は美幌町社会福祉協議会創立63周年・法人化40周年を迎え、記念事業の実施を計画しています。

めざす 方向

- 1 わかりやすい情報を提供します
- 2 ボランティアの発掘・育成・活用をします
- 3 ともにたすけあう活動を推進します
- 4 在宅福祉サービスを拡充します
- 5 社会福祉協議会の基盤を整備します

福祉について知ってほしい ～啓発活動～

- ①ふれあい広場の開催（8月25日開催予定）
- ②カレンダーリサイクル市の開催（1月11日開催予定）
- ③社協だより「ふれあいいりりん」の発行（4・7・10・1月の年4回）
- ④びほろボランティア情報の発行（不定期で町内公共施設等へ設置）

お悩みのある方へ ～各種相談～

- ①心配ごと相談（随時 予約制 相談員2名が電話での相談を含め対応）
- ②無料法律相談（年6回 偶数月の第3水曜日 弁護士による専門的な相談）
- ③福祉よろず相談（随時 高齢者等日常的な困りごとなどに対応）

ぜひご活用を ～各種福祉サービス～

- ①配食サービス（高齢、障がい者世帯で日常調理が困難な方へ、毎週火・金曜日に夕食を届ける）
- ②移送サービス（一般交通機関や家族の車による移送が困難な方が対象 登録予約制）
- ③ふれあい電話サービス（高齢単身者で近隣と連絡がとりづらい方が対象 週2回）
- ④介護機器の貸出（短期間の使用希望者へ車いすやシャワーチェアなどを無料で貸出）
- ⑤いきがいデイサービス（月～土 60歳以上であれば利用可 趣味活動やレクリエーションを実施）
新町・・・コミュニティセンター内 青山・・・老人憩いの家
- ⑥よりあいデイサービス（7カ所で実施 地域に住む高齢者、障がい者等の孤立、孤独の解消）
- ⑦各種貸付
応急援護資金・・・やむを得ない事情によりお困りの方へ、少額の貸付を実施
生活福祉資金・・・道社協事業 他の貸付が受けられない方へ、各種目的に対して貸付を実施
- ⑧日常生活自立支援事業
（道社協事業 高齢や障がいにより日常生活上の判断に不安のある方へ支援を行う）
- ⑨関係機関・団体への支援（福祉関係団体へ運営費の補助や活動を側面的に支援）

ボランティア活動推進

- ①ボランティアセンター運営（ボランティア活動に関する相談、登録、紹介、情報提供）
- ②担い手の発掘、育成
- ③ボランティア団体の活動支援、連携（団体への側面的支援、地域への活動理解）
- ④ボランティア指定校への助成（町内小中学校、高校）
- ⑤ボランティア講座の開催 出前ボランティアセンターの運営



地域のたすけあい活動推進

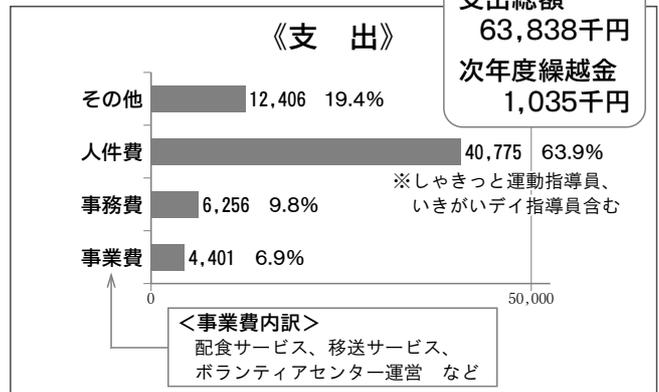
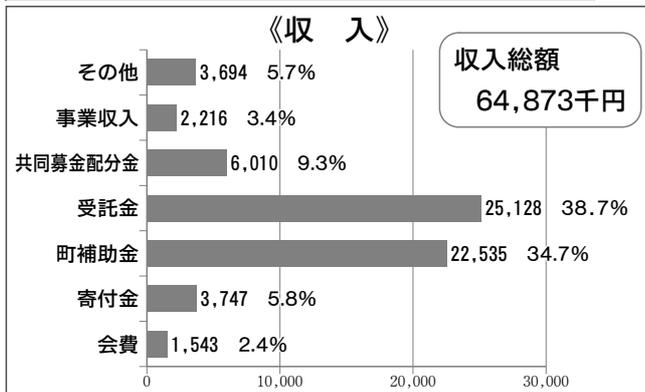
- ①身近なたすけあい活動の推進（声かけ、あいさつ、見守り等の提案、推奨）
- ②たすけあいチームの活動推進（町内33チーム 安否確認、除雪支援等の活動支援）

その他の活動

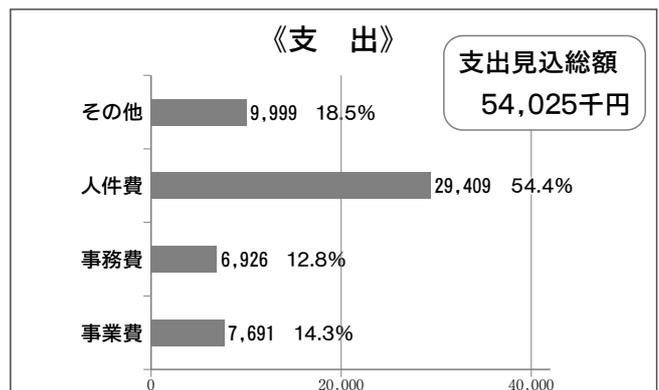
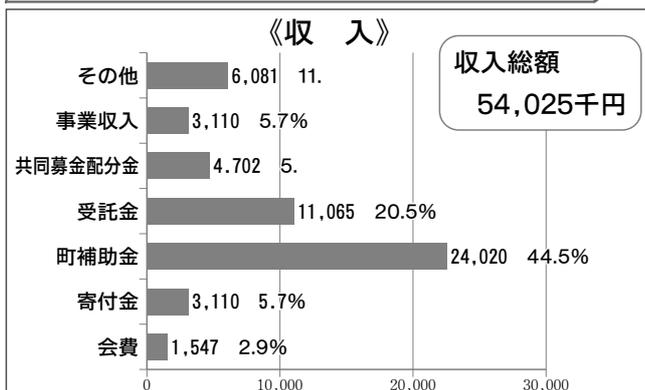
- ①しゃきとプラザ運動施設運営 ②共同募金・歳末たすけあい募金活動の推進
- ③第4期地域福祉実践計画「あんしん輝きプラン」に基づく活動推進と評価委員会の運営

お金のうごき 《決算・予算》

平成24年度 収支決算（単位 千円）



平成25年度 収支予算（単位 千円）



生活費をうまく管理できない

福祉サービスを利用したいが…

通帳をなくしてしまう…

利用してみませんか？

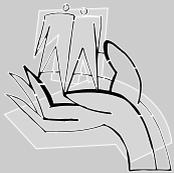
にちじょうせいかつびりつしえんびぎょう

日常生活自立支援事業**～ 日常生活自立支援事業とは… ～**

- この事業は、福祉サービスの利用手続き、生活費の管理、通帳等大切な書類の預かりなど、困っていることへの支援をいたします。
- 利用できるのは、高齢や障がいにより日常生活の判断に不安のある、在宅で生活している方です。
- 生活支援員が月1～2回訪問し、相談支援を行います。

**～ このような支援が受けられます ～**

- ①福祉サービスの利用援助～福祉サービスの利用に必要な手続き等のお手伝い
- ②日常的金銭管理サービス～公共料金の支払い、年金の受取、預金からの生活費の払戻し等、日常的なお金の管理
- ③書類等の預かりサービス～預金通帳や年金証書、印鑑など大切な物の預かり

**～ そのほか ～**

- 利用料金として、1回950円と生活支援員の交通費をいただきます。
※生活保護を受けている方は無料です。
- 利用の希望や内容をもっと知りたい方、ご近所でお困りな方がいる等、ぜひ社協までご連絡・ご相談ください。(社協：☎72-1165)



社協では・・・今年度、本事業の利用促進のため、町内の関係機関等へのアンケート調査、道内先進地の視察、事業周知のための研修会、事業検討等を行っていきます。

★ 社協在宅サービス委員会報告 ★

社協理事5名で組織する在宅サービス委員会は、5月30日に会議を開催し、日常生活自立支援事業、サロン活動、ふまねっと、ボランティア活動などを話し合いました。

日常生活自立支援事業は、今後単身高齢者が増加し利用が確実に増えるため、身近な社協が担っていくことが必要であると意見が出されました。

また、サロン活動は、担い手や会場の関係で各地区での開催が難しいが、身近な場所での開催を望んでいる声もあるため、どのように広げていくか今後検討していくこととしました。

その他『ふまねっと』のサポーターや『えがお支援』という演芸や工芸など趣味を生かしたボランティア活動を広め、利用をすすめていくことといたしました。

《在宅サービス委員会》遊佐隅江委員長、石川亘副委員長、田口正美理事、小形勇一理事、村口善二理事

ご利用ください!!

社会福祉協議会の福祉サービス

在宅で生活する高齢者、障がい者の方々へ、各種サービスを実施しております。希望される方は、社会福祉協議会（電話72-1165）までお問い合わせください。

移送サービス



病院受診の際の送迎をします。対象は、一般交通機関や家族の車による移送が困難な高齢者・障がい者で、リフト付移送用車両が必要な方です。はじめに利用登録をしていただき、利用日の3日前までに電話で申し込んでいただきます。利用料金は無料です。

・平成24年度利用実績
利用登録 22名 / 延回数 230回

配食サービス



おおむね65歳以上の单身または夫婦世帯、障がい者世帯で、日常の調理及び買い物が困難な方へ、安否確認を兼ねて、週2回（火・金曜日）夕食をお届けします。料金は、一食500円（所得により300円）です。

・平成24年度利用実績
利用登録 71名 / 延食数 6,647食

介護機器貸出

短期間の使用や購入前の試用を希望される方へ、貸出をいたします。貸出期間は概ね一ヶ月で、利用料金は無料です。

◎貸出用品
・車椅子 ・シャワーチェア ・歩行器 ・ポータブルトイレ など



配食サービス ボランティア 募集

一緒に活動しませんか？

配食サービスは、毎日の食事作りや買い物が困難な高齢者・障がい者へ、安否確認を兼ねて、毎週火曜日と金曜日にお弁当をお届けするサービスです。

運転業務スタッフ1名とボランティア2名の計3名が1台の車に乗り活動します。お弁当をお届けする件数は約25件で、活動時間は1回1時間30分程度です。現在、運転業務スタッフ13名、ボランティア51名が活動しています。一緒に活動してみませんか？

- ・活動日 火曜日または金曜日
- ・活動回数 月1～2回
- ・活動時間 14:30～16:00すぎ
- ・備考 2人一組なので、お友達やご夫婦で活動できます。



詳しくは、美幌町社会福祉協議会（しゃきっとプラザ内 ☎72-1165）までお問い合わせください。

春休みボランティアセミナーの報告



3月28日29日に、中学生・高校生の約10名余りが、ボランティアや福祉について学ぶセミナーに参加しました。

2日間の学習の中で、高校生リーダーとしての役割や、目に見えない障がいを抱える方々についての学習会・交流会を通して、人と人とのコミュニケーション、自分と相手をお互いに支え合うなど、当たり前だと思っているけれど難しい、「つながり」について、また一歩学習しました。



えくぼの職員やメンバーの皆さんに、実はまだよく知らない、見えない障がいと一緒に生きる人たちについて教えてもらいました。

楽しいこと、つらいこと、夢や目標は障がいがあってもなくても同じところが沢山あると知りました。

皆でゲーム大会を開催し、大いに盛り上がりました
皆笑顔です！



えくぼ福祉会の皆さんとの交流は新しい“絆”になりました！
ありがとうございます

よりあいデイサービスの紹介

よりあいデイサービスは、地域に住む高齢者、障がい者、児童、子育て中の親子の孤独解消、閉じこもり防止や介護予防、世代間の交流を目的として、概ね月1回、町内7ヶ所の地域で実施されています。今回は、5月17日(金)に行われた「とりさとサロン」を紹介します。

とりさとサロン

とりさとサロンは、鳥里自治会内に住む75歳以上の単身者を対象に、鳥里会館で月1回開催しています。5月は、細長い風船をひねる「バルーンアート」に挑戦し、花を作りました。

最初は、「無理無理!」「出来ないよ～」とおそろおそろ触っていた皆さんも、だんだんとひねることに慣れ、スタッフに手伝ってもらいながら一本の花が完成すると「にっこり」笑顔に。さらに、スタッフが利用者さんの作った花と、スタッフが前日にこっそり準備をしていた花をあわせて、「自分だけの風船の花束」を作りプレゼント。スタッフからの思いがけない贈り物に歓声が上がり、とびっきりの笑顔になりました。



花びらの大きさについて隣りと相談



難しいところはスタッフがお手伝い



完成の笑顔!

鳥里自治会地区にお住まいの方、一緒に楽しみませんか？詳しくは、社会福祉協議会（電話72-1165）まで。

ふれあい広場



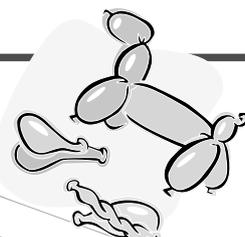
日程 **8月25日(日)※予定**

時間 **10:00~13:30**

会場 **しゃきとフラザ(東3北2)**

内容 **ふれあい体験、出店、福祉学び
コーナー etc.**

縁日、ふれあい体験コーナー、学び体験コーナーなど遊べて学べる内容が盛りだくさん！小さなお子さんから、おじいちゃんおばあちゃんまで、みんなで、楽しく参加してみませんか？



ふれあい広場を手伝ってくれる学生さん募集中！
福祉団体のみなさんやお客様と交流しながらふれあい広場を盛りあげてみませんか？

24日スタッフ：10:30~12:00頃（会場設営）

25日スタッフ：9:30~13:30頃（各コーナースタッフ）

※中学生、高校生、専門学生、大学生の皆様を対象とさせていただきます

みんなで遊んで学んで盛り上がりましょう！



心温まるご寄付をありがとうございます

社会福祉のために、いつも温かいご寄付をいただきありがとうございます。
心より厚くお礼申し上げます。地域福祉のために有効に活用させていただきます。

寄付金

◎香典返しを廃して

- ・赤間 淳子様
- ・鹿野 照子様
- ・十川 勉様
- ・大西 博様
- ・井上 幸一様
- ・片桐 京子様
- ・山田 章様
- ・高松 啓様
- ・山口 美子様
- ・遊佐 喜美男様

◎社会福祉事業のために

- ・リリー山スキー場
職員一同様
- ・音夢の会
アンダンテ様
- ・高橋 テツ子様
- ・鈴木 晶子様
- ・佐々木 鐵雄様

寄贈金

◎古紙、エコキャップ、あて布、古切手、封筒他

- ・美芳さわやかクラブ様

◎エコキャップ、リングブル

- ・美幌駐屯地曹友会様
- ・仙頭 雪子様
- ・村口 善二様
- ・小松 幸彦様
- ・えぞりすサークル様
- ・旭シルバーハウジング様
- ・手をつなぐ本人の会フレンズ

◎リングブル

- ・北雄ラッキー(株)シティびほろ様
- ・澤田 美恵子様
- ・大津 まり子様
- ・小野崎 玲子様

◎エコキャップ

- ・(株)高橋工務店様
- ・どんぐりの会様
- ・鳥里クラブ様
- ・佐々木 峻様

◎雑巾、あて布、新タオル、他

- ・田中老人クラブ様
- ・栄町若葉クラブ様

◎使用済切手

- ・三橋南クラブ様
- ・十川 勉様

◎エコキャップ、手作り封筒

- ・中西 務様

◎あて布、オムツ他

- ・山縣 繁政様

◎シャワーチェアー、紙オムツ

- ・黒沢 美紀様

◎雑巾

- ・岡本 精二様

◎車椅子

- ・森谷 修司様

◎新タオル

- ・西島 俊一様

◎エコキャップ・古切手

- ・足田 フク子様



小野崎さんと大津さんの2人が、数年かかりで集めたリングブルを寄贈いただきました。

あとがき

今年度の幕開けとしての春は低温続きで、ストーブの火を絶やすことができませんでしたが、やっとオホーツク地方が1年でもっとも光り輝く良い季節になりました。

さて、今年には美幌町社会福祉協議会が創立63周年・法人化40周年を記念する年であります。今月の30日に社協役員を中心に関係者で組織される第1回目の実行委員会が開催され、どのような記念行事を実施するか検討されることになっています。

今までの美幌町における地域福祉の活動を振り返り、先人たちのご苦勞に感謝するとともに次の10年へ向けての活動を考える年になればと思います。

今後とも社協活動に対するご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

(事務局 記)